

2020年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年7月16日

上場会社名 株式会社買取王国 上場取引所 東
 コード番号 3181 URL <https://www.okoku.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)長谷川 和夫
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部長 (氏名)陳 美華 (TEL) 052-304-7851
 四半期報告書提出予定日 2019年7月16日
 配当金支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第1四半期の業績（2019年3月1日～2019年5月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第1四半期	1,183	3.1	38	44.3	41	39.7	22	29.8
2019年2月期第1四半期	1,148	△0.5	26	△13.5	29	△10.7	17	△15.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第1四半期	12.47	—
2019年2月期第1四半期	9.68	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	
2020年2月期第1四半期	3,082	1,860	60.4	1,051.09
2019年2月期	3,140	1,838	58.5	1,038.33

(参考) 自己資本 2020年2月期第1四半期 1,860百万円 2019年2月期 1,838百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年2月期	—				
2020年2月期(予想)		—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の業績予想（2019年3月1日～2020年2月29日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,320	4.0	1	—	5	—	3	—	1.85
通期	4,902	3.4	56	67.0	63	28.2	36	193.7	20.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年2月期1Q	1,771,800株	2019年2月期	1,771,800株
2020年2月期1Q	1,300株	2019年2月期	800株
2020年2月期1Q	1,770,500株	2019年2月期1Q	1,756,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調が見られた一方、世界経済の減速・貿易摩擦などの影響により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、個人消費の伸び悩み、人手不足による採用難・人件費の上昇などにより厳しい経営環境が続いております。

このような外部環境に対応するために、当社はさまざまな取組みを進めてまいりました。

商品政策においては、全体の商品調達力を高めるために、店頭買取の効率アップとともに、宅配買取・法人買取及び昨年導入した催事買取を強化してまいりました。取扱い商材に関しては、売上構成比の高いファッション・ホビー及び工具を攻めるものとして力を入れ、ブランド・トレカ・アウトレット衣料を徹底して守り、家電・スマートフォン・生活雑貨を育ててまいりました。

店舗政策においては、不採算店舗買取王国豊田248店（愛知県豊田市）を2019年5月29日に閉店いたしました。既存店業績の格差をなくすために、店舗管理システムのデータを分析し、各店の一坪あたり売価在庫や在庫回転率の適正化を図ってまいりました。店舗マニュアル作成専任者と教育プロジェクトチームと共に、標準化を推進してまいります。

新店については、工具買取王国岡崎大樹寺店（愛知県岡崎市）を2019年3月21日に、工具買取王国京都久世171号店（京都市南区）を2019年7月1日にオープンいたしました。

売上高については、多店舗展開する工具専門店舗態の売上が寄与したため、売上高が前年同期を上回りました。人件費をはじめ各種費用の上昇により販売費及び一般管理費が増加しましたが、売上総利益の増加に吸収されて、営業利益が前年同期を上回ることとなりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,183百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益は38百万円（同44.3%増）、経常利益は41百万円（同39.7%増）、四半期純利益は22百万円（同29.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前事業年度との比較・分析を行っております。

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて76百万円減少し、1,909百万円となりました。これは、現金及び預金が42百万円、商品が58百万円増加した一方、有価証券が190百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて17百万円増加し、1,172百万円となりました。これは、投資その他の資産が35百万円増加した一方、有形固定資産が3百万円、無形固定資産が14百万円減少したことなどによるものです。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ58百万円減少し、3,082百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて8百万円減少し、623百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金40百万円減少した一方、未払法人税等が12百万円、賞与引当金が13百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べて72百万円減少し、597百万円となりました。これは、長期借入金74百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べ80百万円減少し、1,221百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末と比べて22百万円増加し、1,860百万円となりました。これは、四半期純利益により利益剰余金が22百万円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月15日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	669,922	712,589
売掛金	91,252	99,385
有価証券	190,159	—
商品	943,714	1,001,911
その他	90,854	95,742
流動資産合計	1,985,903	1,909,629
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	167,302	166,811
土地	341,824	341,824
その他（純額）	88,542	85,679
有形固定資産合計	597,669	594,314
無形固定資産	176,640	162,294
投資その他の資産		
投資有価証券	—	32,116
関係会社株式	31,900	31,900
差入保証金	238,114	242,074
その他	110,707	110,087
投資その他の資産合計	380,721	416,178
固定資産合計	1,155,031	1,172,787
資産合計	3,140,934	3,082,416
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,951	4,861
1年内返済予定の長期借入金	380,726	340,702
未払法人税等	8,506	20,622
賞与引当金	16,886	30,511
ポイント引当金	19,114	18,923
資産除去債務	3,014	3,014
その他	198,888	204,877
流動負債合計	632,088	623,513
固定負債		
長期借入金	576,906	502,550
退職給付引当金	28,800	31,100
資産除去債務	63,699	63,729
その他	550	561
固定負債合計	669,955	597,940
負債合計	1,302,043	1,221,453
純資産の部		
株主資本		
資本金	336,370	336,370
資本剰余金	266,370	266,370
利益剰余金	1,236,150	1,258,221
株主資本合計	1,838,891	1,860,962
純資産合計	1,838,891	1,860,962
負債純資産合計	3,140,934	3,082,416

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
売上高	1,148,354	1,183,813
売上原価	500,447	508,503
売上総利益	647,907	675,309
販売費及び一般管理費	621,331	636,963
営業利益	26,575	38,345
営業外収益		
受取利息	207	109
受取手数料	2,647	2,842
その他	1,011	935
営業外収益合計	3,866	3,887
営業外費用		
支払利息	944	591
その他	126	624
営業外費用合計	1,071	1,216
経常利益	29,370	41,016
特別損失		
解約違約金	4,092	404
店舗閉鎖損失	—	2,400
特別損失合計	4,092	2,804
税引前四半期純利益	25,278	38,212
法人税等	8,272	16,140
四半期純利益	17,006	22,071

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。